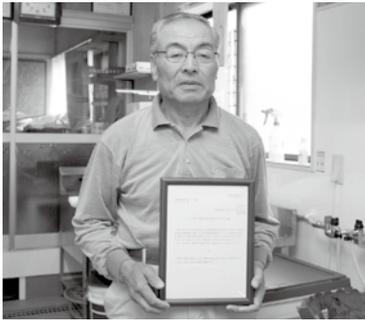


いちばん
づくり課

どぶろくで地域活性化

「しょうばら どぶろく特区」で2人目となる酒造免許付与



免許を手にした高原芳典さん

6月1日、庄原税務署で、市内で2例目となる「しょうばら どぶろく特区」を活用した酒類製造免許（酒造免許）が、西城町の高原芳典さん（農業・飲食店経営）に付与されました。

高原さんは「どぶろく造りを通じて地域活性化に貢献したい」との思いから、広島市内で酒造研修を受講し、市の補助金制度を活用するなどして準備を進めてきました。「今後は製造場で製造・販売を行い、将来的には飲食店への提供や、道の駅、インターネットで販売したい」と話していました。

「しょうばら どぶろく特区」は、国の構造改革特別区域法に定める酒税法の特例措置を受けたもので、酒税法の最低製造基準が適用がされないため、少量生産が可能となります。特例措置による酒造免許の申請には、特区の区域内で農家民宿や飲食店を営業する農業者であることなどの要件があります。

観光
振興課

外国人観光客・修学旅行生が大幅増

平成29年市観光客数の動向



民泊体験で市を訪れた修学旅行生

県が毎年実施する観光客数の動向調査で、平成29年の市観光客数が、外国人が5643人（前年比20・5%増）、修学旅行生が3980人（前年比48・5%増）と、過去3年で最多となりました。これは、市内観光事業者などの関係機関と連携した営業活動を行ったこと、修学旅行生の民泊受け入れ体制の整備など、観光客のニーズに応じたプロモーション活動を展開した成果と分析しています。なお、市全体の観光客数は行楽シーズンの悪天候などの影響により263万2983人（前年比4・5%減）となりました。

市観光振興計画では、平成30年の目標値を観光客数282万人、観光消費額45億436万1千円（1人当たり1597円）としています。達成に向け、特色ある観光資源を生かした地域づくりを進めるとともに、国営備北丘陵公園北入口エリア「里山の駅庄原ふらり」を無料化する社会実験事業を活用した周遊観光の促進、観光推進体制の構築やプロモーション活動の強化に取り組んでいきます。

観光
振興課

新ご当地グルメをPR

「比婆牛丼」「庄原やさい寿司御膳」パンフレット発行



庄原やさい寿司パンフレット



比婆牛丼パンフレット

庄原観光いちばん協議会は、地元農畜産物を使った新ご当地グルメ「比婆牛丼」「庄原やさい寿司」のパンフレットを発行しました。

新ご当地グルメの開発には、比婆牛丼に8店舗、庄原やさい寿司御膳に4店舗が参加しました。

パンフレットは、庄原産米や比婆牛、庄原野菜などの食材の魅力や、各店舗について詳しく紹介しています。市内物販拠点施設や飲食、宿泊施設などで入手できます。皆さんお誘い合わせの上、ぜひご賞味ください。

協議会では、新ご当地グルメを国内外の旅行会社や観光客へプロモーション活動を展開し、「おいしい庄原」を積極的にアピールしていきます。現在、新ご当地グルメの参加店舗を募集しています。興味のある店舗は、協議会までお問い合わせください。

問い合わせ
庄原観光いちばん協議会事務局（観光振興課内）
☎0824・73・1179